

学校運営協議会 議事録

校名	府立城東工科・東大阪みらい工科高等学校
(准)校長名	中谷 竜也

開催日時	令和 7年 7月 2日(水) 14:00 ～ 15:45
開催場所	本校2号棟4階 視聴覚室
出席者(委員)	山田 啓次会長、宗田 充博委員、山田 茂委員 岡本 茂委員、大石 房枝委員、渡邊 力也委員
出席者(学校)	中谷校長、三谷教頭、宇井教頭、福本事務長、他11名
傍聴者	
協議資料	令和7年度学校経営計画及び学校評価、令和7年度各組織の目標と計画
備考	

議題等(次第順)
①令和7年度 学校経営計画及び学校評価 ②令和7年度 行事予定表 ③令和7年度 体育祭の報告 ④新入生アンケート結果 ⑤令和6年度 安全衛生委員会資料 ⑥令和8年度 教科書採択について
協議内容・承認事項等(意見の概要)
・令和7年度 学校経営計画及び学校評価 ○資格は1つでも履歴書に書けるようにしてほしい。 ○昨年度のPTAでも出た資格の連絡等が周知されていない件については、今年度はメールを中心に連絡をしている。 ○みらいプロジェクトの説明あり。 ・令和6年度 安全衛生委員会資料 ○本社の2016年度平均残業50時間。上長の決断により現在は20時間。 ○労災の理由について質問。雨の日に階段で滑って骨折した。 ○人を増やさないと、だれが仕事をするのか。今働いている会社では、残業0時間、工程が組めるものであればできるが、学校はそうはいかないだろう。先生も減らされているのに、部活動等の指導が減っていない以上は、仕事の負担が大きくなるばかりではないか。 ○校長会でも話題になっており、土日に広報活動や部活動があるけど、平日は授業があるので先生方は休めない。人を増やすことや休める体制づくりを府教委で実施してほしいと意見がでている。部活動は地域に移行することで時間外業務は減ると思うが、部活動を減らすことは、部活動に力を入れる私立により流れるのではないかなどの意見も出ている。 ○部活動指導や資格指導などをやりたくて、教員になった者もいる。 ○大東市として部活動を支える体制があり、助かっている。しかし、大東市では、警告的に今年から80時間が3か月以上続いている場合など、産業医とオンラインで面談を実施している。教員に話を聞いていると、私生活でも特にやることもなく、学校で遅くまでいて教員間で話している方が、精神的には楽だと聞く。ただ、一方で、学校がほぼ家のようになっている教員もいるので、それはどうかと思う。 ○私の会社では、繁忙期と閑散期の差が大きい。業務が遅れすぎて、土日や夜勤などに仕事するしかないが、週休や夜勤などで働いたら、次の週の一日は必ず休みなさいとなっている。忙しい部署とそうでない部署との差があったり、労基からの指示があるなど、労働環境などに頭を抱えている。 ○その厳しい環境の中でも、残業時間短縮に努力していかなければならない。 ○目の前の生徒が頑張っているのを見ると、やっていたいと思うのが教員であると思う。それだけ指導に時間をかけたい。 ・令和8年度 教科書採択について ○了承、承認

意見聴取事項

・令和10年度以降の公立高等学校入学者選抜に係る学校特色について

- ものづくりの好きな子をとってほしい。
- 結果、応募がなかったとしてもよいのか。募集はしたが、該当しないということはある。
- より高次の学びを得てものづくりに関わってほしい。
- 結果を求めること＝ポリシーに沿うのか
- 工業に興味のある子を最優先にとるのはどうか。
- 男と女の仕事に今はあまり差がない
- 中学校から工業にいく生徒を送り出すときは、面倒を見てもらえる、就職ができる、野球が強いなどが保護者の意識にあった。
- どの中学校でも、面接指導は必ずやっているし、プレゼン指導も自己申告書の指導と同じようにできるのではない。
- 面接やプレゼンなどは、将来必要となるのでよいのではない。
- 電車が作りたいという想いから工業・工科を選んできた。
- どういう人材がほしいか。中学校の授業で何か作ってきたか、どんなものを作ってきたかを問うなどディスカッションや面接など、自己PR力がある人をもとめてる。
- ものづくりでは、国語力、図面の読解力から算数(計算)力が必要。

次回の会議日程

日時	令和7年 10月 日()00:00～
会場	本校 視聴覚室(2号棟4階)